

総務教育常任委員会資料

(令和5年1月20日)

【 件 名 】

- ・ 鳥取県立夜間中学の校名決定等について (小中学校課) … 2
- ・ 鳥取県特別支援教育推進計画(仮称)の策定に係るパブリックコメントの実施結果について (特別支援教育課) … 5
- ・ 「鳥取県人権教育基本方針」第3次改訂(案)に係るパブリックコメントの実施結果について (人権教育課) … 7
- ・ 県立美術館事業に係るふるさと納税の新設について (美術館整備課) … 9
- ・ 鳥取県立博物館 開館50周年記念企画展 「安岡信義 1888-1933 —近代洋画の黎明期を生きた画家」の開催について (博物館) … 11
- ・ 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び鳥取県体力・運動能力調査の結果について (体育保健課) … 12

教 育 委 員 会

鳥取県立夜間中学の校名決定等について

令和5年1月20日
小中学校課

令和4年12月22日の定例教育委員会において、鳥取県立夜間中学の校名を「鳥取県立まなびの森学園」に決定するとともに、令和6年度鳥取県立まなびの森学園入学者募集方針を定めましたので報告します。
また、この校名にふさわしい校章案の募集を開始しましたので報告します。

1 校名について

(1) 学校名 鳥取県立まなびの森学園(とっとりけんりつまなびのもりがくえん)

(2) 選定理由

応募者が学校を「森」、先生を「森の木々」、生徒を「いろとりどりの鳥」に例え、入学する生徒の姿を描きながら思いを込めたように、「森」は様々な生命が宿り、活動し、くつろぎ、生きている場である。森には、それだけ多様な生命を生み出し、包み込む偉大な力がある。また、「まなび」にはコンセプトにもあるように、多様な生徒が安心して学んだり、ともに学び合う仲間とつながったりして、夢や目標に向かってはばたいていけるよう、後押しをしていくメッセージが込められている。まさに学校は、集う生徒たちの、学びにチャレンジする願いに応え、自分らしい学びを実現することを目指すものであるため、学校の名称にふさわしい。

2 校名決定までの経緯について

9月21日から10月20日まで 全国から校名を公募

・応募件数87件(応募者数70名)

同名での応募は、「星空」を使った名称が3件、「いろどり学園」が2件でした。

11月4日 県立夜間中学設置準備等に係る懇談会で意見聴取

11月16日 校名候補について教育委員全員で協議

12月22日 定例教育委員会において全会一致で決定

3 令和6年度鳥取県立まなびの森学園入学者募集方針について

別添の入学者募集方針をもとに、今後は募集案内を作成して広く周知し、入学者確保につなげていきます。

4 校章案の募集について

鳥取県立夜間中学基本的構想[コンセプト]に沿い、鳥取県立まなびの森学園の校名にふさわしい校章案の公募を開始しました。

・募集期間 令和5年1月5日(木)から2月10日(金)まで …4月頃決定予定

コンセプト…「いろとりどり[色鳥取]に、ともに自分らしく学ぶ」

5 その他

令和4年12月16日「体験授業会」を開催し、授業体験4名、授業見学25名(報道関係含む)の合計29名の参加がありました。今後も体験授業会を開催していく予定です。

令和5年2月から、校舎となる県教育センター情報教育棟の改修工事を開始し、8月末に改修を終える予定です。

令和6年度鳥取県立まなびの森学園入学者募集方針

1 基本方針

鳥取県立まなびの森学園は、入学資格のある入学希望者に対し、文部科学省が定めている中学校の学習内容を学ぶ機会を提供するため、入学者を募集します。

2 入学資格

次のすべてを満たし、中学校での学び直しを希望する人です。

- (1) 令和6年4月1日時点で鳥取県に在住している人で、国籍は問いません。
- (2) 令和6年4月1日時点で15歳以上の人（平成21年（2009年）4月1日以前に生まれた人）。
- (3) 次のいずれかにあてはまる人。
 - ア 不登校や病気など様々な理由により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人。
 - イ 小学校や中学校を卒業していない人。
 - ウ 本国や日本で十分に小学校や中学校の教育を受けられなかった外国籍の人。

3 入学者の募集

校長は次のとおり、入学者を募集します。

- (1) 募集学年は第1学年から第3学年まですべての学年です。原則として、募集人数は各学年10名程度です。
- (2) 年度の始め（その年の4月）の入学者を募集することを基本とします。また、入学者募集期間を決めて入学者を募集します。
- (3) 教育上の支障がないときは、年度の途中でも追加で入学者を募集することがあります。なお、入学の相談や授業見学・体験は年間をとおして受け付けます。

4 入学者の決定等

校長は次のとおり、入学者を決定します。

- (1) 入学希望者から提出された入学申込書類及び入学希望者への面談によって、入学資格、入学の意思、すでに学んだ義務教育の学習内容などを確認し、入学を決定します。
- (2) 入学を決定した人に入学許可書を交付します。なお、入学する学年は、第1学年を原則としますが、すでに学んだ義務教育の学習内容などをふまえ、教育上の支障がないときは第2学年以上への入学を認めます。
- (3) 入学資格のある入学希望者については、各学年の募集人数を超えても、学校で受け入れが可能な範囲で入学を認めることがあります。

5 その他

鳥取県立まなびの森学園入学者募集の詳細な内容は、県教育委員会が別に定めます。

鳥取県立まなびの森学園コンセプト



目指す学校の姿

いろとりどり【色鳥取】に、ともに自分らしく学ぶ

「鳥取県立まなびの森学園」（夜間中学）は、世代や国籍、これまでの学びの経験の違いなどを超えた、さまざまな人たちの思いや考え方にふれ、ともに学び合うことをとおして、自分らしい学びを実感できる学校です。安心して中学校の学びにチャレンジしたいと願う方のため、3つの「よろこび」を実現する教育活動を行っていきたいと考えています。

～ 県立まなびの森学園 3つのよろこび ～



「学ぶ」よろこび

「つながる」よろこび

「社会の中で生きる」
よろこび

1 「学ぶ」よろこび

- ✿ 生徒一人ひとりの願いや、これまでの学びの経験に合った学習計画を立てて学びます
- ✿ 「学びたい気持ち」に先生がしっかり寄り添い、安心して質問ができ、何度でも説明してもらうことができます
- ✿ 教科や学年の枠を超えて学び合ったり、パソコンやタブレットを使ったりして、一人ひとりの「わかった」「できた」が大切にされます

2 「つながる」よろこび

- ✿ とともに学び合う仲間とのつながりを大切にし、お互いの存在を認め合い、安心して生活することができます
- ✿ 学級活動や遠足などの行事を行いながら、語り合い、力を合わせ、ともに楽しみます
- ✿ 生徒同士、先生と生徒だけでなく、地域の方をはじめ、学校外のさまざまな人と出会い、つながり合います

3 「社会の中で生きる」よろこび

- ✿ 鳥取の歴史や文化などにふれる体験的な学びから、「ふるさと鳥取」に生きるよろこびを実感します
- ✿ 自分のペースに合わせたさまざまな学びを積み重ね、高校などへの入学や働くために必要な力と自信がきます
- ✿ 安心して学ぶことができる環境の中で、ともに成長し、卒業の先にある夢や目標に向かっていきます



いろとりどり【色鳥取】とは・・・

鳥取県が目指す夜間中学は、ダイバーシティ（多様性）を生かした学び合いの中で、引きこもりの方や外国籍の方などが社会（ふるさと鳥取）とつながることを後押しするなどの役割を持っています。

いろとりどり【色鳥取】とは、「ふるさと鳥取」の中で、いろんな色（国籍、性、年齢、学習歴など、さまざまな事情や背景などを含めた個性）を出しながら「のびやかに学んでいこう」、「社会（ふるさと鳥取）とつながりを持ちながら次の未来にはばたいていこう」というメッセージを込めています。

鳥取県特別支援教育推進計画（仮称）の策定に係るパブリックコメントの実施結果について

令和5年1月20日
特別支援教育課

鳥取県特別支援教育推進計画（仮称）の策定にあたり、案に対するパブリックコメントを実施しましたので、その結果を報告します。

1 意見募集期間

令和4年11月29日（火）から12月19日（月）まで

2 周知方法

- ・ホームページ・新聞広告への掲載、県の電子申請サービス応募フォーム
- ・県庁県民参画協働課、各総合事務所地域振興局、日野振興センター日野振興局、東部・八頭庁舎及び県立図書館並びに各市町村役場へのチラシの配架

3 意見の状況

意見数 41件(10人)【反映した8、盛り込み済15、反映しない16、分類できない2】

項目	件数
趣旨、計画期間	1
切れ目ない支援体制構築と特別支援教育の充実	14
社会や幼児児童生徒の実態の変化に応じた今後の特別支援学校における教育の充実	0
特別支援教育に関する教職員の専門性向上と福祉・医療等の連携充実	16
社会に開かれた特別支援教育の推進	3
その他	7

4 主な意見と対応方針

項目	主な意見	対応方針
切れ目ない支援体制構築と特別支援教育の充実	1 小学校通常学級から特別支援学級、小学校から特別支援学校という教育の場の変更だけではなく、その逆もあり得ることから「校内支援体制づくり」の推進のみが施策の方向性でよいのか。	【計画に盛り込み済】 鳥取県の現状として、特別支援学校から特別支援学級、特別支援学級から通常学級といった変更もあり、「校内支援体制づくり」には、教育的ニーズに最も確にこたえる指導を提供できる就学先となる学校や学びの場の検討も含まれている。
	2 中学校から高校への進路指導において、（その子が）高校の教育課程に対応可能なかを把握することに関して記載していただくのがよい。想定されることの把握と準備を考慮しておく必要がある。	【計画に盛り込み済】 入学前・後において、合意形成を図った上で「合理的配慮」について決定し、中学校からの確実な引継ぎがなされるよう中学校、高等学校間の連携を促進していく。また、入学後の支援に関しても、職員の専門性向上等、様々な取組を推進していく。
	3 高等学校の教職員の専門性の向上、特別支援学校との人事交流など、常勤職としての人材確保や養成が喫緊の課題という認識を持つべきである。	【計画に盛り込み済】 現在、高等学校と特別支援学校との人事交流及び特別支援教育に関する専門性向上研修を実施しているところ。引き続き、必要な支援体制の整備と教職員の育成を推進していく。
	4 「卒業後の自立に向け、入学後から卒業後までの一貫した支援が行われるよう、中学校及び関係機関との連携を促進します。」に、「大学等進学先との連携」を明記すべきではないか。【具体的な取組】の記述についても同様である。	【計画に反映した】 進学先、就労先についても追記する。

項目		主な意見	対応方針
特別支援教育に関する教職員の専門性向上と福祉・医療等の連携充実	5	高等学校の教職員が特別支援教育についての知識を高めるためには、職場単位での研修を年に1回でも実施してはどうか。	【計画に盛り込み済】 全ての高等学校の教職員に対し、特別支援教育に関する専門性を向上させるための校内研修を含む研修等や、人材育成等を目的とした大学等への研修派遣を引き続き充実させていく。
	6	通級による指導を担う教員の数の担保は課題にはならないのか。	【計画に盛り込み済】 通級指導教室担当者の専門性の確保及び向上や通級指導教室の拡充を今後も図っていく。
	7	発達障がいに関して早期の診断、療育が必要。診断できる医師や療育の場が少ない。切れ目ない支援をしてほしい。	【計画に盛り込み済】 今後も関係機関へ情報を提供する等、連携を推進していく。
	8	障がい者の生涯学習の機会が保障される旨の記述があるとよい。	【計画に盛り込み済】 生涯学習に関することについて記述している。
社会に開かれた特別支援教育の推進	9	柱の「社会に開かれた特別支援教育」とははたして何か。「特別支援教育が社会を開く」ぐらいの意気込みがなければ共生社会の実現は依然と遠いものである。	【計画に反映した】 表現を検討し、「 <u>共生社会の実現を目指した特別支援教育の推進</u> 」に修正する。
その他（感想含む）	10	「策定の趣旨」の中に、「夢や目標を持ってもらう」ということも大事であり、子どもたちの将来にエールを送るようなフレーズがあっても良いのではないか。	【計画に反映した】 障がいのある子どもたちの夢や目標についても追記する。
	11	策定の趣旨に記載してある「誰一人取り残さない」という表現を「誰一人取り残されない」と表記してほしい。	【計画に反映しない】 県が主体的に取り組むため、表現の修正は行わない。児童生徒の多様化及び学校や社会を取り巻く環境が大きく変化する中で、「誰一人取り残さない」取組を進めていく必要があり、そこには、子ども達が「誰一人取り残されない」教育の実現への取組も含んでいる。

- 5 今後の予定
令和5年3月 定例教育委員会において議決・公表

「鳥取県人権教育基本方針」第3次改訂（案）に係るパブリックコメントの実施結果について

令和5年1月20日

人権教育課

「鳥取県人権教育基本方針」第3次改訂（案）に係るパブリックコメントを実施しましたので、その結果を報告します。

1 意見募集期間 令和4年10月17日（月）から11月11日（金）まで

2 周知方法等

- ・ホームページ・新聞広告への掲載、報道機関への資料提供
- ・県民参画協働課、各総合事務所地域振興局、日野振興センター日野振興局、東部・八頭庁舎及び県立図書館並びに各市町村役場へのチラシの配架

3 応募件数及び対応

(1) 応募件数 8件（8人）

(2) 対応

反映した	2件
盛り込み済	4件
その他	2件

(3) 意見と対応等

No.	章	節	【意見】	【対応等】
			※いただいたご意見を一部要約したり、趣旨をわかりやすく表現し直したりしています。	①反映した（一部のみ反映したものを含む） ②既に盛り込み済み ③今後の検討課題 ④対応できない ⑤その他（基本方針の内容以外のもの）
1	-	-	基本方針を実践するに際しての具体的な策が見えてきません。	⑤ 本方針は、本県の人権教育を推進するための基本的な姿勢や考え方を示すものであるため、具体的な方策については、人権教育行政担当者会、人権教育主任研究協議会、その他各種研修会等の機会を捉え、指導参考資料や優れた実践事例等を示しながら丁寧な説明に努めます。
2	-	-	先生が基本方針を読める先生になって欲しい。そのために活用をどうしていくかが大切である。	⑤ 人権教育行政担当者会、人権教育主任研究協議会、その他各種研修会等の機会を捉え、周知に努めます。
3	3	1	コミュニティスクールの導入等、学校教育と社会教育（以下「学社」という。）の連携が重要視されている。すべての人権課題とは言わないが、特に学社が連携する場面が多い人権課題について、学社の連携について書いてはどうか。	② ご指摘の点も含め、第3章第1節2で、就学前教育、学校教育、社会教育の各分野の関係者が連携・協働した取組を推進することが必要であると示しています。
4	3 4	2 2	人権教育の取組は、教職員一人一人の取組もあるが、校長のリーダーシップのもとに、学校をあげて全校体制で取組まれるものだと思いますので、そのような記載もあるとよい。	① 以下のとおり修正します。 各学校においては、校長は、 <u>自校の実態を踏まえ、人権教育に関わる目標設定及び推進指針を示すとともに、教職員が一体となって人権教育に取り組む体制を整え、組織的・継続的に行うことが重要です。</u> （中略）そのため、各学校においては、人権教育に関わる研修の位置づけを明確化し、 <u>全ての教職員の人権意識と指導力向上に向けて取り組むことが重要です。</u>

No.	章	節	【意見】 ※いただいたご意見を一部要約したり、趣旨をわかりやすく表現し直したりしています。	【対応等】 ①反映した（一部のみ反映したものを含む） ②既に盛り込み済み ③今後の検討課題 ④対応できない ⑤その他（基本方針の内容以外のもの）
5	4	2	子どもたちを指導する立場にある教職員の人権教育に対する理解、教職員の人権感覚が重要だと思います。その点をしっかりと記載してはどうか。	② ご指摘の点も含め、第4章第2節1で、教職員の姿勢そのものが、教育活動の重要な要素であり、また、児童生徒の安心感や自尊感情を育むことにもなると示しています。
6	4	2	家で何気ないことも子どもはよく聞いています。学校よりもむしろ家庭での影響が大きいので、家庭における人権教育の推進をお願いします。	② ご指摘の点も含め、第4章第2節2で、教育委員会をはじめ各行政機関が、地域やPTAにおける学習機会の充実、資料や情報を提供することで、家庭における人権教育の推進を支援するように示しています。
7	5	1	「心のバリアフリー」と「障がいの社会モデル」には矛盾が生じる可能性がある。また、「マイクロアグレッション(※)」は「気をつけましょうね」になってしまいがちである。社会の構造、制度、文化など批判的な視点を育成することが大切である。心の問題にしていまわないようにしてほしい。	② ご指摘の点も含め、第1章第2節3(1)で、具体的な人権の基準を正しく理解すれば、自らの経験や身の回りで起こったできごと、文化や習慣等を「人権が守られているか」という視点から検証し、課題を発見したり、自らの在り方生き方をふりかえったりする力をつけることができると示しています。
8	5	1	ユニバーサルデザインの推進の中に、「心のバリアフリー」の教育を展開するところがあるが、「ユニバーサルデザイン」の視点も必要ではないか。	① 以下のとおり修正します。 ①学校教育 幼児期から発達段階に応じて、切れ目なく「心のバリアフリー」の教育と「 <u>ユニバーサルデザインの考え方</u> 」を理解する教育を展開することが大切です。その際には、共生社会の実現に向けて、多様性を理解し、社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「障がいの社会モデル」と、「 <u>ユニバーサルデザインの考え方</u> 」を踏まえ、差別や排除の行動を行わず、お互いの良さを認め合い協働していく力を養うことが重要です。特に、障がいのある人との触れ合い等の体験活動を通じて、子どもたちは知的理解だけでなく、感性としても「心のバリアフリー」を身に付けること、また、 <u>身の回りにあるものを「ユニバーサルデザインの考え方に基づく誰もが使いやすいものか」という視点で検証することも重要です。</u>

(※) マイクロアグレッション：無意識に相手を傷つける日常的言動。

4 今後の予定


令和5年3月 定例教育委員会議決・公表

県立美術館事業に係るふるさと納税の新設について

令和5年1月20日
美術館整備課

令和7年春に開館予定の県立美術館事業に用途を限定したふるさと納税を次のとおり新設し、特設サイトを公開しましたので、報告します。

1 特設サイト概要

公開日	令和5年1月1日(日・祝)(寄附受付は1月5日(木)開始)	
特設サイトの名称	「ふるさと納税による2025春開館鳥取県立美術館事業への支援」 「とりネット」の美術館整備局内に開設。「鳥取県ふるさと納税サイト」の民間受付サイトに新たに追加する「2025春開館鳥取県立美術館事業」を選択しクレジット決済等で受付	
寄附金の用途	2025春開館鳥取県立美術館事業	

2 サイト設置の背景・ポイント

- 令和4年5月県議会での議論を踏まえ、美術品取得基金の財源にふるさと納税を活用するよう検討してきたところですが、美術館事業全体(美術品購入も含む)の財源とするふるさと納税を新設することとし、1月5日から運用を開始しました。

全国で最後発となる県立美術館として、アートを発信する拠点施設となるために、以下の事業に取り組む鳥取県立美術館をともに作り上げる支援のための寄附の用途を新設するものです。

- ・県内全小学校4年生を美術館に招待するミュージアム・スタート・パスの試行事業や対話型鑑賞ファシリテーターの養成など「アートを通じた学び」を支援するアート・ラーニング・ラボ(ALL)推進事業
- ・これまでの県立博物館の美術部門を引き継ぎつつ、さらに多くの方を惹きつける国内外の優れた美術品を収集し、県民の美術文化の向上や、広く県内外からの誘客を図る美術品収集 等

3 返礼品(県立美術館関連返礼品:1月13日(金)から選択可能)

<県外在住者向け>

寄附額	返礼品(開館前は引換券)
1万円	・無料招待券(1枚)
5万円	・年間スペシャルパス(1枚) ・オリジナル商品(1セット)
10万円	・年間スペシャルパス(1枚) ・オリジナル商品(1セット) ・開館記念図録(1冊)
50万円	・年間スペシャルパス(1枚) ・オリジナル商品(1セット) ・開館記念図録(1冊) ・芳名プレート館内表示
100万円	・永久スペシャルパス(1枚) ・オリジナル商品(1セット) ・開館記念図録(1冊) ・芳名プレート館内表示 ・1日館長体験

- 1 寄附額の多寡にかかわらず返礼品を受け取らない選択も可能
- 2 寄附金の用途を「2025春開館鳥取県立美術館事業」にしてその他の返礼品を選択することも可能
また、寄附金の用途を別事業にして上記返礼品を選択することも可能
- 3 返礼品はPFI構成企業であるアクティオ&丹青社共同事業体がふるさと納税パートナー企業として提供

<県内在住者向け>

寄附額	返礼品(開館前は引換券)
任意	・なし ただし、50万円以上の寄附者には、返礼品としてではなく記録的名簿として、寄附者に確認のうえ芳名プレートを設置。 50万円の線引 感謝状贈呈:50万円以上(50万円未満はお礼状)

ふるさと納税の制度上、県内寄附者には返礼品贈呈は不可

「ふるさと納税による2025春開館鳥取県立美術館事業への支援」特設サイト

ホーム
HOME

新着情報・関連リンク
NEWS/LINK

アーカイブ
ARCHIVE

お問合せ・アクセス
CONTACT/ACCESS

「ふるさと納税による2025春開館鳥取県立美術館事業への支援」特設サイト

2025年春、「とっとり未来を『つくる』美術館」がいよいよオープンします。

これまでの美術館の基本機能（(1)収蔵・保管管理、(2)調査研究、(3)展示、(4)教育普及）に、(5)地域・学校・県民との連携・協力を加え、人々が集い、楽しみ、交流や活動し、ととりのアートを発信する拠点施設として、これまでの県立博物館の美術部門を引き継ぎつつ、さらに広く国内外の優れた美術作品を収集し、県民の美術文化の向上を図っていくこととしています。

このことから、県内全小学校4年生を美術館に招待するミュージアム・スタート・バスの試行事業や対話型鑑賞ファシリテーターの養成など「アートを通じた学び」を支援するアート・ラーニング・ラボ（ALL）推進事業や、多くの方を惹きつけ広く県内外からの誘客を図る美術品購入など、鳥取県立美術館事業への支援のための寄附の使途を新設しました。

返礼品には「オリジナル商品」や「年間スペシャルバス」等を用意しておりますので、鳥取県立美術館をともに作り上げる支援にご参加をいただき、開館後には是非ご来館いただきますようお願いいたします。

令和5年1月



提供：横総合計画事務所 イメージ制作：ヴィック Vicc Ltd.

⇒「[鳥取県ふるさと納税サイト](#)」に移動します。

（寄附受付は1月5日（木）開始。なお、美術館関連返礼品は、1月13日（金）から選択可能。）

民間受付サイト（ふるさとチョイス「使い道」掲載例）



2025春開館鳥取県立美術館事業

2025年春に開館する県立美術館の「アートを通じた学び」を支援するアート・ラーニング・ラボ推進事業や美術品収集など県立美術館に関する事業に活用させていただきます。

鳥取県立博物館 開館50周年記念企画展

やすおかのぶよし
「安岡信義 1888-1933」

近代洋画の黎明期を生きた画家」の開催について

令和5年1月20日
博 物 館

鳥取県立博物館の開館50周年記念企画展の最後を飾る、明治から昭和初期にかけて活動した鳥取県ゆかりの洋画家、安岡信義(やすおか のぶよし 1888～1933)の展覧会を開催します。

- 1 会 期
令和5年2月11日(土祝)から3月21日(火祝)まで(34日間)
(休館日 3月21日を除く毎週月曜日)
- 2 会 場
鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
- 3 主 催
安岡展実行委員会(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)
- 4 観 覧 料
一般700円(前売・団体・大学生・70歳以上500円)
(高校生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料)
- 5 関連事業
特別講演会、ギャラリートーク等を予定(別添チラシ参照)

<概要>

鳥取に生まれ育ち、東京美術学校で学んだ後、教職のかたわら絵画制作に情熱を注ぎながらもこれまであまり知られることのなかった安岡信義の初めてとなる回顧展です。

近代洋画の黎明期において、安岡信義が図画教師として果たした役割と、一地方画壇が形成された状況を見つめなおす機会とし、あわせて、近代洋画を牽引する画家の作品も紹介しながら同時代の諸相の中で安岡信義の画業を位置づける内容としています。

<見どころ>

- ・没後初公開となる油彩の作品群をはじめ、直筆の書簡や日記、スケッチ等の一次史料を一挙公開し、生前に「理性的でありながら情熱家」と評された安岡信義の魅力的な人物像に迫ります。
- ・東京美術学校で教鞭をとり、安岡信義が直接的にも間接的にも師と仰いだ黒田清輝(くろだ せいき)、久米桂一郎(くめ けいいちろう)、岡田三郎助(おかだ さぶろうすけ)、小林万吾(こばやし まんご)、藤島武二(ふじしま たけじ)、和田英作(わだ えいさく)ら近代洋画の黎明期を牽引した巨匠たちの作品も紹介します。
- ・「スケッチや下絵」と「本画」をタイアップして展示することで、具体的な制作の過程をご覧いただくことができます。
- ・関連イベントとして、日本近代美術史の第一人者であり東京藝術大学教授の佐藤道信(さとう どうしん)氏による特別講演会を開催します。
また、美術館の開館を見据えて、展示作品を用いて鑑賞する力を身につけ、対話型鑑賞に生かすためのワークショップも開催します。さらに、同様の内容で対話型鑑賞のファシリテーター登録者を対象とした研修会を開催します。

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び
鳥取県体力・運動能力調査の結果について

令和5年1月20日
体育保健課

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び鳥取県体力・運動能力調査の結果について報告します。

1 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

(1) 調査について

- ・平成20年度から文部科学省（現在はスポーツ庁）が小学5年生、中学2年生を対象として実施している調査（悉皆調査）
- ・実技テスト（8項目）及び運動習慣に関する質問による調査

(2) 実技テスト結果の概要（全国との比較）

【小学5年生】

- ・男女とも体力合計点が全国平均値を上回った。

小5男子		小5女子	
全国	鳥取県	全国	鳥取県
52.29	52.75	54.32	54.99

- ・全国平均値を上回った項目は全16項目（8項目×男女）のうち8項目。
（男子4項目、女子4項目） 令和3年度は7項目

小5男子			小5女子		
項目	全国	鳥取県	項目	全国	鳥取県
握力	16.21	16.45	握力	16.10	16.15
反復横とび	40.37	41.22	反復横とび	38.67	39.95
20mシャトルラン	45.93	52.06	20mシャトルラン	36.98	43.38
ソフトボール投げ	20.31	21.19	ソフトボール投げ	13.16	13.61

- ・男女とも体力合計点の順位が令和3年度に比べて大幅に向上した。

小5男子		小5女子	
令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
23位	13位	23位	14位

- ・各項目で順位が上がったもの（同順含む）は12項目。

小5男子			小5女子		
項目	令和3年度	令和4年度	項目	令和3年度	令和4年度
握力	27位	16位	握力	36位	23位
上体起こし	33位	33位	上体起こし	26位	24位
長座体前屈	43位	37位	長座体前屈	46位	43位
反復横とび	21位	15位	反復横とび	16位	14位
50m走	38位	23位	50m走	42位	25位
ソフトボール投げ	17位	15位	ソフトボール投げ	26位	23位
20mシャトルラン	2位	3位	20mシャトルラン	2位	3位
立ち幅とび	11位	27位	立ち幅とび	21位	28位

は、順位が上がったもの。

【中学2年生】

- ・男女とも体力合計点が全国平均値を上回った。

中2男子		中2女子	
全国	鳥取県	全国	鳥取県
40.90	42.28	47.28	48.47

- ・全国平均値を上回った項目は全16項目のうち10項目。
(男子6項目、女子4項目) 令和3年度は12項目

中2男子			中2女子		
項目	全国	鳥取県	項目	全国	鳥取県
握力	28.95	29.43	反復横とび	45.81	46.98
反復横とび	51.02	52.33	20mシャトルラン	51.34	55.87
20mシャトルラン	77.69	83.10	50m走	8.97	8.89
50m走	8.06	7.95	立ち幅とび	166.89	169.58
立ち幅とび	196.82	201.61			
ハンドボール投げ	20.20	20.44			

- ・男女とも体力合計点の順位が令和3年度に比べて下がった。

中2男子		中2女子	
令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
10位	11位	6位	13位

- ・各項目で順位が上がったものは男子の5項目。

中2男子			中2女子		
項目	令和3年度	令和4年度	項目	令和3年度	令和4年度
握力	29位	20位	握力	16位	35位
反復横とび	7位	4位	上体起こし	8位	31位
20mシャトルラン	4位	3位	長座体前屈	27位	29位
立ち幅とび	9位	2位	反復横とび	1位	2位
ハンドボール投げ	29位	26位	20mシャトルラン	4位	5位
上体起こし	21位	27位	50m走	3位	9位
長座体前屈	33位	42位	立ち幅とび	7位	8位
50m走	2位	3位	ハンドボール投げ	36位	38位

□は順位が上がったもの。

【総合判定】

- ・全5段階のうち、小5及び中2の男女ともA・Bの割合が全国の割合より高く、D・Eの割合が全国の割合より低い。

総合判定	小5男子		小5女子		中2男子		中2女子	
	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県
A Bの割合	30.7%	32.4%	37.1%	39.8%	30.9%	34.6%	53.8%	55.7%
D Eの割合	36.9%	34.8%	28.8%	26.6%	34.0%	29.7%	18.1%	14.2%

(3) 経年比較(平成21年度からの比較)【資料1】

- ・小5の男女とも「長座体前屈」で令和4年度が過去最高であった。
- ・中2男子では「上体起こし」「20mシャトルラン」、中2女子では「握力」「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「ハンドボール投げ」及び体力合計点で令和4年度が過去最低であった。

(4) 質問紙結果の概要

【運動やスポーツに対する意識】

- ・運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と回答した児童生徒の割合の変化はあまりみられないが、「やや嫌い」「嫌い」と回答した児童生徒の割合は減少している。

【資料2】

- ・体育、保健体育の授業は「楽しい」と回答した児童生徒の割合は小5及び中2の男女とも増加している。【資料3】

【朝食、睡眠、スクリーンタイムの状況】

スクリーンタイム・・・平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間

- ・朝食は、「毎日食べる」と回答した児童生徒の割合は小5、中2の男女とも減少傾向にあり、「食べない日もある」「食べない日が多い」「食べない」と回答した割合は増加傾向にある。【資料4】

- ・睡眠時間は、小5及び中2年の男女とも、睡眠時間の少ない割合(8時間未満)が増加しており、特に中2女子の「6時間未満」の割合の増加が大きい。【資料5】
- ・学習以外でのスクリーンタイムは、「5時間以上」等長時間の回答を児童生徒は大幅に増加し、「全く見ない」等短時間の回答をした児童生徒は大幅に減少している。【資料6】

【児童生徒の運動時間】

- ・体育、保健体育以外の運動時間は小5、中2の男女とも平成26年と比較すると大幅に減少している。中2においては、1週間の運動時間は男子で約134分、女子で約98分減少している。【資料7】

2 鳥取県体力・運動能力調査

(1) 調査について


- ・昭和52年から小1～高3の全児童生徒を対象として県教育委員会が実施している調査
- ・小1から高3までの悉皆調査
- ・今年度の全国平均値との比較はできないため、前年度の同学年の全国平均値と比較

(2) 結果の概要

全国平均値(令和3年度体力・運動能力調査)との比較

- ・「握力」では小学5年生以上の男女すべての学年が全国平均値を下回った。
- ・「長座体前屈」では、高校生の男女すべての学年が全国平均値を上回った。
- ・「50m走」「立ち幅とび」では小、中学校の男女すべての学年が全国平均値を下回った。
- ・「体力合計点」では小、中学校の男女すべての学年が全国平均値を下回った。

	小学校												中学校						高等学校						
	男子						女子						男子			女子			男子			女子			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
握力																									
上体起こし																									
長座体前屈																									
反復横とび																									
20mシャトルラン																									
50m走																									
立ち幅とび																									
ボール投げ																									
体力合計点																									

(網掛け  は全国平均値より下回っている項目)

令和3年度県平均との比較

- ・中学2年生の女子はすべての項目で昨年度の記録を下回った。
- ・「20mシャトルラン」では全学年の男女で昨年度の記録を下回った。
- ・「体力合計点」では中、高等学校の全学年の男女で昨年度の記録を下回った。

	小学校												中学校						高等学校						
	男子						女子						男子			女子			男子			女子			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
握力																									
上体起こし																									
長座体前屈																									
反復横とび																									
20mシャトルラン																									
50m走																									
立ち幅とび																									
ボール投げ																									
体力合計点																									

(網掛け  は令和3年度の県平均より下回っている項目)

生活習慣と体力合計点との関係

- ・運動部や運動クラブ等に所属している児童生徒は、所属していない児童生徒に比べて体力合計点が高い。
- ・週3日以上運動している児童生徒は体力合計点が高い。
- ・学年が上がるにつれて、週3日以上運動している児童生徒とそれ以外(週1～2日、月1～3日、しない)の児童生徒との合計点の差が大きい傾向にある。
- ・運動を「週1～2日」、「月1～3日」、「しない」と回答した児童生徒の合計点に大きな差がない学年もある。
- ・1日の運動時間が2時間以上の児童生徒は体力合計点が高い。
- ・全学年の男女とも、朝食を「毎日食べる」児童生徒の体力合計点は、「時々食べない」「食べない」児童生徒より高い。
- ・睡眠時間と体力合計点との関係に大差は認められない。
- ・テレビの視聴時間と体力合計点との関係は、小学校においては、大差は認められないが、高校生においては、テレビの視聴時間が長いほど体力合計点が高い。
- ・パソコンや携帯の利用時間と体力合計点との関係は、小、中学校においては、大差は認められないが、高校生においては、パソコンや携帯の利用時間が長いほど体力合計点が高い。

3 結果の考察

(1) 全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査

- ・長座体前屈は小5では男女とも経年比較で過去最高であり、中2でも男女とも令和3年度に次ぐ記録となっていることから、長座体前屈(柔軟性)の向上に向けた取組の成果が現れていると考えられる。
- ・中2の男女とも全国順位が全体的に低下した。女子においては、全国平均を下回っている項目が増えていることから、体力が低下していることも考えられる。
- ・「20mシャトルラン」は全国平均値及び県平均値が年々低下している。全国平均値よりは高い水準にあるが、経年で見ると最高記録から小5男子は約9回、小5女子は約7回、中2男子は約7回、中2女子は約8回減少しているため、要因の分析と具体的な対策を検討していく必要がある。
- ・全国及び鳥取県ともに、睡眠時間の減少、朝食を食べない児童生徒の割合及びスクリーンタイムが増加している。体力を向上させるためには、生活習慣等の改善も併せて行う必要がある。
- ・小5及び中2の男女とも総合判定のA Bの割合が全国平均を上回り、D Eの割合が全国平均を下回ったことは良い傾向であるが、今年度だけの結果で体力の2極化が解消されてきているとは言えないので、今後も運動することに意欲的でない児童生徒に対しての手立てについて考えていく必要がある。

(2) 鳥取県体力・運動能力調査

- ・高等学校は、全国平均値と比較すればどの項目も高い水準にあるが、昨年度との比較や過去6年間の経年比較では、低下傾向にある。
- ・年齢が上がるにつれてテレビの視聴時間及びパソコンや携帯(スマートフォン)の利用時間が長いほど、体力が低下している傾向にある。また、朝食の有無も体力に影響している結果であったので、体力の向上と生活習慣とは密接に関係していることが考えられる。
- ・運動クラブ等に所属していたり、週3日以上運動している人は体力合計点が高いため、体力を向上させるためには継続して運動する習慣を身につけることが重要である。
- ・年齢が上がるにつれてテレビの視聴時間及びパソコンや携帯(スマートフォン)の利用時間が長いほど、体力が低下している傾向にある。また、朝食の有無も体力に影響している結果であったので、体力の向上と生活習慣とは密接に関係していることが考えられる。
- ・長座体前屈が平成28年度と比較し全学年で向上しているのは、ワンミニッツエクササイズ等の啓発や体力向上推進計画での具体的な目標設定等、これまでの取組の成果が結果となっていると考えられる。

(男子)

区分	小学校											
	1年(6歳)		2年(7歳)		3年(8歳)		4年(9歳)		5年(10歳)		6年(11歳)	
	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4
長座体前屈	25.88	26.23	27.16	27.72	28.39	29.36	29.92	30.76	31.44	32.60	33.13	34.21

区分	中学校						高等学校					
	1年(12歳)		2年(13歳)		3年(14歳)		1年(15歳)		2年(16歳)		3年(17歳)	
	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4
長座体前屈	37.18	39.15	41.36	42.80	44.63	46.78	48.72	49.27	50.30	51.18	52.24	52.78

(女子)

区分	小学校											
	1年(6歳)		2年(7歳)		3年(8歳)		4年(9歳)		5年(10歳)		6年(11歳)	
	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4
長座体前屈	28.03	28.32	29.58	30.46	31.76	32.35	32.89	34.33	35.42	36.60	37.41	38.51

区分	中学校						高等学校					
	1年(12歳)		2年(13歳)		3年(14歳)		1年(15歳)		2年(16歳)		3年(17歳)	
	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4
長座体前屈	41.17	42.45	44.28	45.62	46.64	48.97	47.20	49.15	49.21	50.79	50.18	51.69

4 今後の取組

- ・20mシャトルランは小学校及び高等学校において、全国平均値を上回っているが、学年や性別を問わず低下していることから、各学校の現状や低下している要因等を体力向上支援委員会や体育主任連絡協議会等で分析・対策を話し合い、具体的な取組を行っていく。
- ・20mシャトルランは、熱中症の防止等の理由から未実施の学校もあったため、これまでの実施時期を見直す等、確実に実施できるように呼びかける。
- ・長座体前屈は改善傾向にあるが、小中学校においては依然全国平均より低い状態であるので、今後も継続して長座体前屈の向上に向けた取組を行っていく。
- ・実施マニュアルや動画等を活用し、児童生徒及び教員が実施方法を確実に理解して体力テストを行うよう啓発していく。
- ・小学5年生、中学2年生とも「握力」「上体起こし」が経年比較すると低い水準にある。この2項目は日常生活の「物を握る」、「タオルをしぼる」、「姿勢の保持」等と関連している項目であるため、生活の中で意識したり、体育・保健体育で体幹トレーニングを取り入れたり、家庭等と連携して取り組んでいく必要があることを各学校に啓発する。

【資料1】

小5男子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
令和4年度	16.45	18.52	32.55	41.22	52.06	9.54	150.54	21.19	52.75
令和3年度	16.16	18.55	31.71	41.04	52.88	9.55	152.59	21.4	52.62
令和元年度	16.44	19.77	32.1	42.72	57.72	9.34	153.7	22.2	54.43
小5女子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
令和4年度	16.15	17.90	36.56	39.95	43.38	9.72	144.21	13.61	54.99
令和3年度	15.88	17.90	35.80	40.14	44.86	9.74	145.39	13.63	54.95
令和元年度	16.20	18.95	36.55	41.13	47.66	9.69	146.11	13.53	56.38
中2男子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
令和4年度	29.43	25.53	42.43	52.33	83.10	7.95	201.61	20.44	42.28
令和3年度	28.90	26.21	43.11	52.47	86.05	7.86	200.59	20.16	42.61
令和元年度	28.73	26.29	41.87	52.43	86.10	7.94	196.47	19.56	41.60
中2女子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
令和4年度	23.06	21.31	45.52	46.98	55.87	8.89	169.58	12.19	48.47
令和3年度	23.82	23.00	46.00	48.50	60.59	8.69	172.03	12.53	50.89
令和元年度	23.56	22.84	44.93	47.38	60.70	8.73	170.25	12.48	50.08

【資料2】

小5男子	運動やスポーツをすることは好きですか。				小5女子	運動やスポーツをすることは好きですか。			
	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い		好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
R 4	69.2%	22.3%	6.1%	2.4%	R 4	53.5%	30.9%	11.1%	4.4%
H 2 5	69.6%	21.4%	6.4%	2.7%	H 2 5	47.5%	32.6%	13.8%	6.1%
中2男子	運動やスポーツをすることは好きですか。				中2女子	運動やスポーツをすることは好きですか。			
	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い		好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
R 4	60.4%	29.1%	6.9%	3.6%	R 4	39.7%	35.4%	16.9%	7.9%
H 2 5	53.1%	32.0%	9.7%	5.2%	H 2 5	35.9%	34.4%	18.9%	10.8%

【資料3】

小5男子	体育の授業は楽しいですか。				小5女子	体育の授業は楽しいですか。			
	楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない		楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
R 4	71.3%	22.3%	4.3%	2.2%	R 4	56.5%	32.1%	8.8%	2.5%
H 2 5	69.8%	23.0%	5.8%	1.4%	H 2 5	51.5%	35.3%	11.5%	1.8%
中2男子	保健体育の授業は楽しいですか。				中2女子	保健体育の授業は楽しいですか。			
	楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない		楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
R 4	57.3%	33.8%	6.0%	2.9%	R 4	39.5%	43.8%	12.9%	3.8%
H 2 5	46.1%	39.6%	11.3%	3.0%	H 2 5	28.9%	45.1%	21.7%	4.2%

【資料4】

小5男子	朝食は毎日食べますか。				小5女子	朝食は毎日食べますか。			
	毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない		毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない
R 4	83.0%	13.9%	2.6%	0.6%	R 4	83.1%	13.4%	2.8%	0.8%
H 2 7	86.2%	11.5%	1.9%	0.4%	H 2 7	85.8%	11.9%	1.7%	0.5%
中2男子	朝食は毎日食べますか。				中2女子	朝食は毎日食べますか。			
	毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない		毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない
R 4	82.7%	12.1%	3.0%	2.1%	R 4	78.1%	17.3%	3.3%	1.2%
H 2 7	85.2%	11.2%	2.6%	1.0%	H 2 7	84.3%	13.1%	1.7%	0.9%

【資料5】

小5男子	毎日どのくらい寝ていますか。						小5女子	毎日どのくらい寝ていますか。					
	10時間以上	9時間以上10時間未満	8時間以上9時間未満	7時間以上8時間未満	6時間以上7時間未満	6時間未満		10時間以上	9時間以上10時間未満	8時間以上9時間未満	7時間以上8時間未満	6時間以上7時間未満	6時間未満
R 4	7.9%	24.4%	34.6%	20.5%	9.1%	3.6%	R 4	7.6%	25.3%	36.8%	20.8%	7.4%	2.1%
H 2 9	10.1%	25.3%	35.4%	19.1%	7.4%	2.6%	H 2 9	8.6%	29.3%	38.3%	17.1%	5.3%	1.5%
中2男子	毎日どのくらい寝ていますか。						中2女子	毎日どのくらい寝ていますか。					
	10時間以上	9時間以上10時間未満	8時間以上9時間未満	7時間以上8時間未満	6時間以上7時間未満	6時間未満		10時間以上	9時間以上10時間未満	8時間以上9時間未満	7時間以上8時間未満	6時間以上7時間未満	6時間未満
R 4	2.1%	6.9%	21.7%	38.7%	23.7%	6.8%	R 4	1.2%	4.9%	16.8%	34.4%	31.3%	11.4%
H 2 9	2.5%	6.1%	21.7%	39.0%	24.1%	6.6%	H 2 9	1.1%	4.4%	17.5%	39.9%	29.5%	7.5%

【資料6】

小5男子	学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。							小5女子	学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。						
	5時間以上	4時間以上5時間未満	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	1時間未満	全く見ない		5時間以上	4時間以上5時間未満	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	1時間未満	全く見ない
R 4	14.6%	9.0%	15.5%	23.2%	26.4%	10.1%	1.2%	R 4	10.6%	8.5%	15.3%	22.8%	26.5%	14.8%	1.7%
H 2 9	10.6%	7.0%	13.9%	21.6%	26.8%	17.8%	2.3%	H 2 9	7.1%	6.5%	13.1%	18.6%	26.9%	24.3%	3.5%
中2男子	学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見えていますか。							中2女子	学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見えていますか。						
	5時間以上	4時間以上5時間未満	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	1時間未満	全く見ない		5時間以上	4時間以上5時間未満	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	1時間未満	全く見ない
R 4	13.7%	11.4%	18.1%	28.4%	21.4%	6.2%	0.9%	R 4	13.0%	9.7%	18.9%	27.4%	23.2%	7.3%	0.5%
H 2 9	9.3%	7.5%	14.7%	27.2%	29.0%	11.0%	1.3%	H 2 9	7.3%	6.7%	15.1%	24.6%	30.3%	14.4%	1.5%

【資料7】

小5男子	学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動をしていますか。(分)								小5女子	学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動をしていますか。(分)							
	月	火	水	木	金	土	日	1週間		月	火	水	木	金	土	日	1週間
R 4	52.99	56.15	62.07	55.49	55.72	118.58	109.18	505.23	R 4	38.16	42.29	44.82	41.67	42.46	76.80	63.73	347.11
H 2 6	61.06	65.71	76.80	63.01	67.12	135.85	119.07	582.92	H 2 6	41.07	45.62	48.30	42.63	46.15	85.97	60.91	370.42
中2男子	学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動をしていますか。(分)								中2女子	学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動をしていますか。(分)							
	月	火	水	木	金	土	日	1週間		月	火	水	木	金	土	日	1週間
R 4	95.77	99.34	48.29	97.17	100.94	166.65	95.32	699.72	R 4	76.47	75.69	26.61	74.77	77.53	117.58	43.72	489.50
H 2 6	107.44	108.49	92.20	102.69	110.47	179.31	133.10	833.12	H 2 6	78.05	79.60	68.10	74.05	81.99	133.47	72.22	587.56